

テレ朝から3月フリー転身

佐々木正洋アナ

妻に土下座で退社

3月にテレビ朝日を退社し、フリーになった佐々木正洋アナウンサー(57)がインタビュに応じた。同局時代は「ワイド!スクランブル」(月曜・前11時25分)の「タリキヤッチアップ!」コーナーを16年間務め、昼の顔として活躍。4月から尊敬する萩本欽一(71)と同じ事務所に入り、新たなスタートを切った。定年目前に迷いなく退社を決めたのはなぜか、思いを聞いた。

定年2年半前

定年まで2年半あまりとなった3月、35年間勤務したテレビ朝日から退社した。突然の発表だったが、佐々木アナは「何か問題でもあったの」と言われるんですが、円満退社ですよ」と笑う。

(加茂 伸太郎)

周囲から「一世一代の勝負」「人生の決断」などとも言われたが、どこ吹く風だ。「そんなに大胆なことかな? 自分では、さほど思っていない。ラジオ、ステージの司会、講演、あらゆるジャンル『しゃべる』というパフォーマンスに挑戦した

い。この気持ち募って、募って……。これ以上我慢できない、爆発寸前のところで決断したんですから」

ラジオ、ステージ、講演

マシンガンのように豪快で速いテンポの語り口はインタビュ中も変わらない。DeNAの中畑清監督(58)ばりにエネルギーギッシュで熱い男だ。実はフリー転身は数年前から模索していた。親交のある黒鉄ヒロシ(66)に相談したこともあったが、決断できなかった。「勝算はあるか」と聞かれ、自分の気持ちがグラグラ揺れた。そのときは腹が据わっていなかった。でも、今回は違つ。誰に何を言われても、気持ち動じなかつた」



「本質を射抜くような言葉を話したい」と意気込む佐々木正洋アナ

あらゆる「しゃべる」に挑戦

欽ちゃんの事務所

必死さは行動に出た。知人のつてを頼り、尊敬する萩本のいる「浅井企画」と直談判。欽ちゃん

ピアノウンサーの万紀子夫人だけは最後まで反対だった。「頼むからフリーにならせてくれ」と「土下座戦法」で懇願。「定年まで安定した収入があるんだから、カミさんからすれば当然の主張。今は応援してくれています」「退職金は2年でなくなるわよ」と脅されている。毎日が必死です……」

大学で将来のアナ育成

○…佐々木アナは、将来のアナウンサー育成のため、今月から東海大学で熱血指導中だ。キャリア支援センターの講座で期間は1年(毎週木曜、計15回)。「教えることは共に希望を見いだしていくこと、という言葉がある。学生たちと『win-win』の関係になれば。次回のアナウンサー試験では、新人アナウが最低でも1人誕生するよ」と意欲をみせた。

◆佐々木 正洋 (ささき・まさひろ) 1954年7月17日、福岡県北九州市出身。57歳。77年慶大法学部卒。同年、テレ朝入社。「アフタヌーンショー」「モーニングショー」「CNNニュース」などを歴任。4月から九州朝日放送「笑まんてん タビ好き」に出演中。174センチ、70キロ。血液型B。

横浜で締めつけた小田和正

74万人動員ツアー

歌手の小田和正(64)が26日、横浜赤レンガパークの特設野外ステージで74万人を動員する全国ツアー(31か所59公演)のファイナル公演を行った。

レイアウト 新井 隆弘